

番号	必要書類	提出の要否	提出確認欄		備考
			いずれか	選択	
1	在留期間更新許可申請書	○	有	無	
2	提出書類一覧表（本表及び別紙「各種確認書」）	△ （備考欄参照）	有	無	高校に在籍している（入学する）場合又は同じ教育機関で更新する場合は「各種確認書」の提出は不要
3	出席証明書及び成績証明書（直近の在留申請時以降に在籍した全ての教育機関に係る証明書）	○	有	無	
4	在学証明書（在学前に申請する場合は入学許可書）	○	有	無	
5	経費支弁書	△ （備考欄参照）	有	無	直近の在留申請時から変更が生じている場合
6	経費支弁者と申請人の関係を立証する資料	△ （備考欄参照）	有	無	
7	預金残高証明書(原本)	△ （備考欄参照）	有	無	
8	経費支弁者の職業を立証する資料	△ （備考欄参照）	有	無	
9	過去1年間の経費支弁者の収入を立証する資料	△ （備考欄参照）	有	無	
10	監護するに至った経緯、監護計画を説明する資料	△ （備考欄参照）	有	無	
11	監護人と申請人の関係を立証する資料	△ （備考欄参照）	有	無	
12	宿泊施設の概要を明らかにする資料	△ （備考欄参照）	有	無	
13	生活指導担当者の在職証明書	△ （備考欄参照）	有	無	
14	申請人の身の回りの世話や生活上の相談及び助言等を行う体制について教育機関が確認したことを証する資料	△ （備考欄参照）	有	無	

教育機関の名称

\_\_\_\_\_

申請人の氏名

\_\_\_\_\_

【別紙】各種確認書（所属機関作成用）

参考様式

1 修学に必要な言語  日本語  その他( ) 語)

2 入学選考における語学能力の確認方法 Selection of Entrants

(該当するものを全て記載。試験の証明書により確認していない場合は、語学能力の確認方法について詳細に記載。なお、日本語教育機関(大学の日本語別科等を含む。)に入学する場合には、下記の□試験又は□面接の欄のいずれか一方は必ず記載すること。)

試験 test

(1) 試験名(日本語能力試験(JLPT)等) Name of the test (2) 級又は点数 Attained level or score
(3) 試験日 Date of the test (4) 試験場所 Place of test
(5) 受験番号 Examinee number

面接 Interview (面接内容を具体的に記載) ※オンライン面接も可

判定: ( ) 試験 級/点 相当又は(日本語教育の参照枠/ヨーロッパ言語共通参照枠における ) 相当
例) 入学に必要な語学力は日本語教育の参照枠におけるA1相当であるところ、面接においてN5の問題集(独自のN5レベルの問題集等)から日本語で問題を出題したところ、○問中○問日本語で回答(正答)した(選考基準は○問正答)。

書類確認 Check of documents

・ 語学学習歴証明書
教育機関及び学習期間
(1) 機関名 Organization
(住所) (Address)
(電話番号) (代表者名)
(Telephone No.) (Name of representative.)
(URL)
(2) 期間: 年 月 から 年 月 まで
Period from (Year) (Month) to (Year) (Month)
(3) 総学習時間 時間 うち申請時点に 時間
Period hour おける既学習時間 hour
・ その他

その他(上記に記載した方法以外の確認方法(独自の入学試験等))(詳細な内容) others (details)

判定: ( ) 試験 級/点 相当又は(日本語教育の参照枠/ヨーロッパ言語共通参照枠における ) 相当
例) 入学に必要な語学力は日本語教育の参照枠におけるA1相当であるところ、筆記試験としてN5の問題集(独自のN5レベルの問題集等)から問題を出題し、○○点取得(選考基準は○○点)。

- ※ 専修学校若しくは各種学校において日本語教育以外の教育を受ける場合又は高等学校において教育を受ける場合は、提出は不要です。ただし、申請書の「日本語能力」又は「日本語学習歴」を必ず記載すること。
※ 前回の在留諸申請から在籍する教育機関に変更がない場合、提出は不要です。
※ 可能な限り詳細に記載願います。在留審査において疑義が生じている場合や記載内容が不足している場合、書類の追加提出を求める可能性があります。
※ 以下「教育機関/課程等名」については、教育機関、課程、学部、学科、専攻、コース等の名称を詳細に記載してください。

教育機関/ 申請人氏名(記名):
課程等名: ※申請人本人の氏名を記載願います。